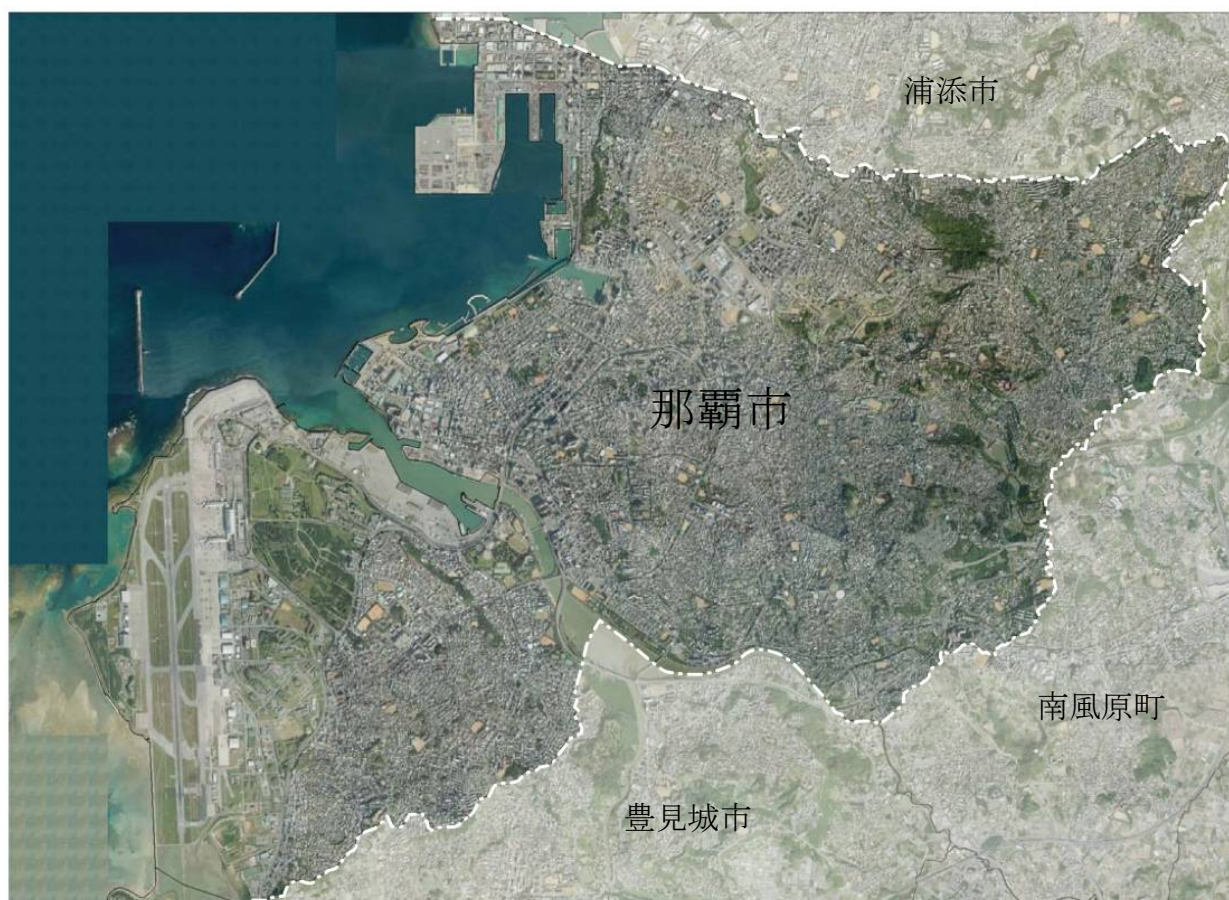


骨格的景観要素とは、那覇市の景観を特徴づける地形や自然、歴史や都市施設及びそれらによって形づくられた景観要素を指し、「那覇らしさ」を代表的にあらわす場所であると位置づけて設定します。

ただし、ひとつのエリア内に含まれる場合は、それらの景観課題、景観形成方針などはエリアの重要な方針のひとつとして、エリア内においてまとめます。したがって、可能な限り、計画区域ごとの必要な事項（方針や行為の制限・基準等）の重複を避け一元的に分かり易くするため、骨格的景観要素を以下に分けることとします。（昭和 61 年 9 月策定的那覇市都市景観基本計画の「骨格的景観要素」を踏襲しながら設定。）

- ①斜面樹林地
- ②河川・海岸線（港湾水際線を含む）
- ③骨格をつくる道路軸（モノレール軸・シンボルロード等を含む）
- ④眺望景観（眺望点と視対象）

那覇市の景観は、自然景観、歴史文化景観、まちなみ景観、活動景観（生活風景）等で構成されているといえます。その中に眺望景観の対象になる（眺望点と視対象を有する）ものは幾つかあります。眺望景観は、これからも広く人々に親しまれていくべき景観であり、眺望景観の設定は、今後とも地域の人々と共に逐次設定していくべきであると考えています。



1. 斜面樹林等、面的な緑の景観形成

(景観計画 p.41、47、59)

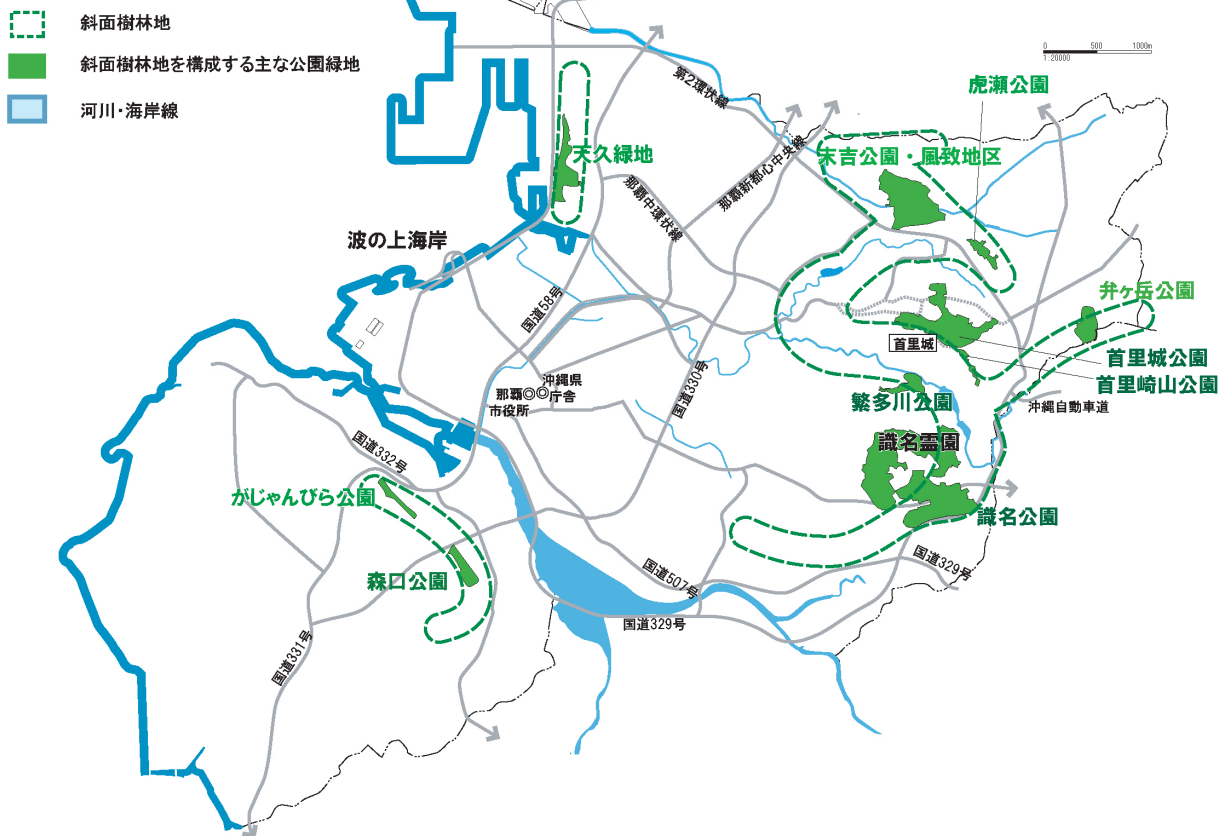
<基本目標>

骨格としての 緑を保全し、緑豊かな景観の形成を目指します。

<全体方針>

- ① 斜面樹林など面的な緑は、公園緑地の緑と合わせて、那覇市の貴重な親水景観を生み出す貴重な緑地として保全します。
- ② 都市全体や地域・地区を縁取る緑の景観要素としてまもり、潤いのある景観形成を図ります。

■骨格的景観要素 図1



＜個別方針＞

①首里王府時代の歴史的な緑並びに稜線のスカイライン（末吉～ニシムイ～虎瀬～弁ヶ嶽～崎山～首里城公園一帯）の保全を図ります。

②首里歴史エリアにおいては、緑の稜線のスカイラインを越える建物等の高さを制限します。



建築物や工作物は、斜面樹林の稜線を超えないよう、配慮する。



斜面樹林の稜線を超えるような高い建物がなく、緑の稜線としての連続性が保たれている。稜線のスカイラインを保全する。

首里末吉町一帯



首里金城町一帯

③地域・地区を縁取り、メリハリをつくる崖地、海崖地など斜面地の緑は可能な限り保全します。

■首里歴史エリア周辺航空写真



市街地が密集しているなかで、まとまって残る緑は、地域・地区を縁取り、メリハリを与えている。それらの緑を可能な限り保全する。

④斜面樹林地にある住宅地等は、地形に馴染ませ、斜面の緑と調和した緑豊かな潤いのある景観形成を図ります。



首里石嶺町“御殿山”一帯

斜面樹林地にある住宅地等は、地形に馴染ませ、斜面の緑と調和した緑豊かな潤いのある景観形成を図る。

2. 地域・地区の自然軸としての河川・

那覇らしさを有する西向き海岸線の景観形成

(景観計画 p.41、47、60)

<基本目標>

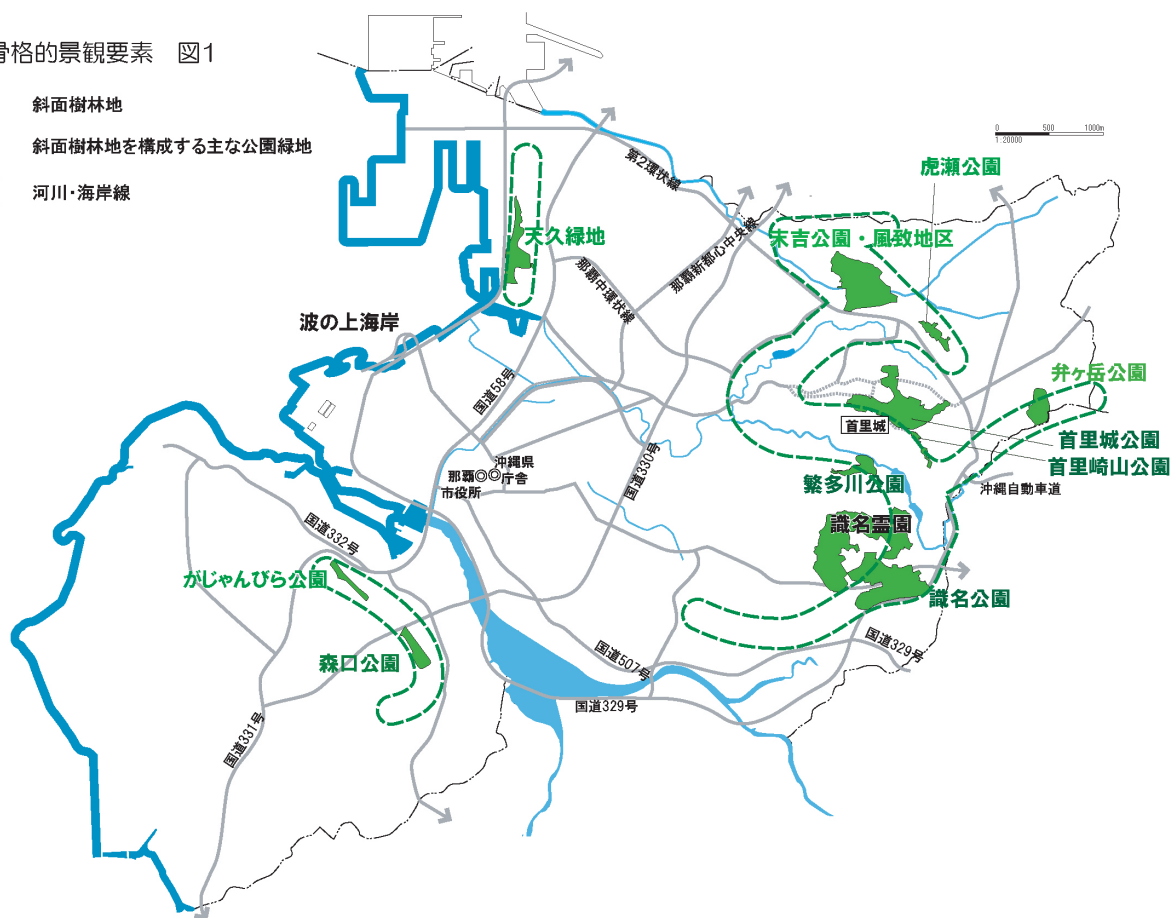
緑の景観形成と共に個性的な親水景観の形成を目指します。

<全体方針>

- ① 那覇市の特有な景観を構成する海や港湾水際線、河川などを「水の骨格軸」として保全し、親水景観の形成を図ります。
- ② 都市環境保全要素としての機能を強化させるとともに、自然生態系の重要な空間として保全を図ります。
- ③ 水と緑のネットワークを強化することによって、一体的に水・緑豊かな景観形成を図ります。
- ④ 自然（水・緑）と歴史・文化が融合し、人々が楽しく交流できる景観形成を図ります。

■ 骨格的景観要素 図1

- 斜面樹林地
- 斜面樹林地を構成する主な公園緑地
- 河川・海岸線



地域・地区の自然軸としての河川等

<個別方針>

- ①河川の水質浄化と河川緑地の保全を図り、あわせて水生動物、野鳥の生息環境の保全・育成を図ります。



久茂地川 県庁前駅横

河川沿いの緑地帯が、水辺の柔らかな縁取りの役割を果たしている。

フェンス等の色は、自然と調和する色彩にするよう配慮ことが望ましい。

琉球石灰岩による護岸

緑により河川の境界部が柔らかくつながれ、一体的な空間となっている。

河川側のバルコニー緑化により自然と一体となる。

河川の水辺空間と雁行により豊かな表情を生みだしたファサードが調和した事例



末吉市営住宅



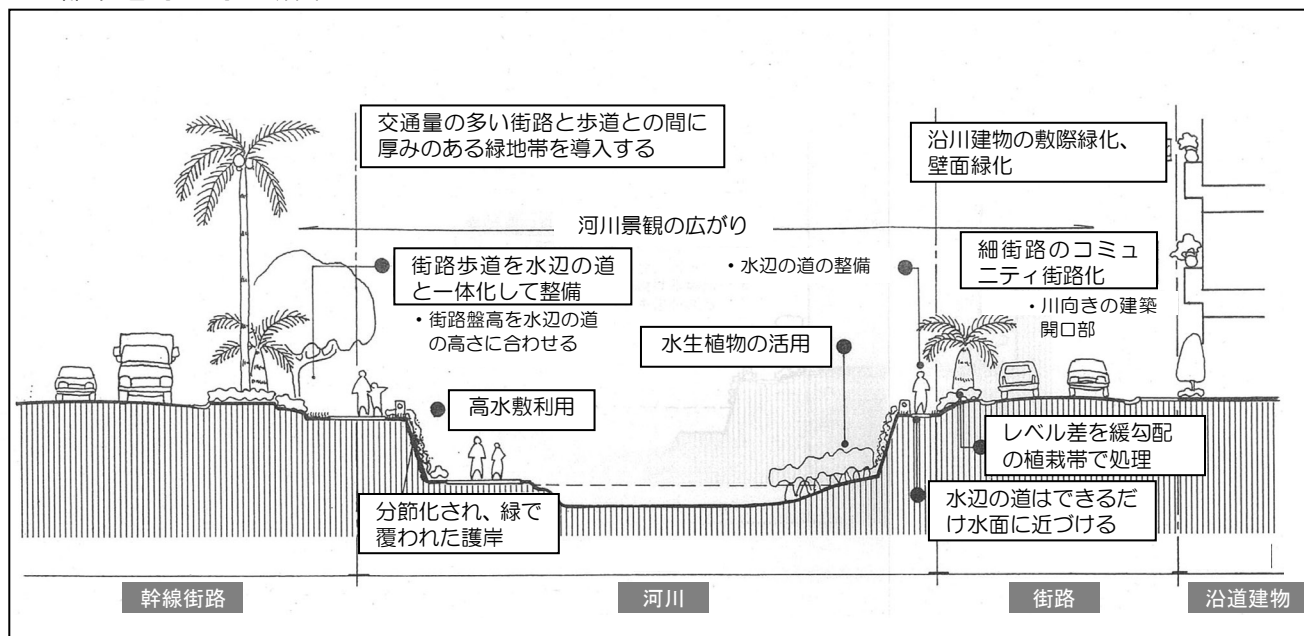
多自然型の親水護岸

生物の生息環境にも配慮した間隙のある琉球石灰岸の石積み護岸により那覇らしい個性のある河川空間を形成する。

国場川親水空間

②河川沿いの緑化によって緑豊かなオープンスペースを創出し、河川と緑が一体的な景観形成を図ります。

■都市運河型河川断面イメージ





琉球石灰岩による多孔質な護岸と緑化により環境共生型で親水性の高い水辺空間を形成している事例。

琉球石灰岩による親水プロムナード

さいおんスクエア親水護岸

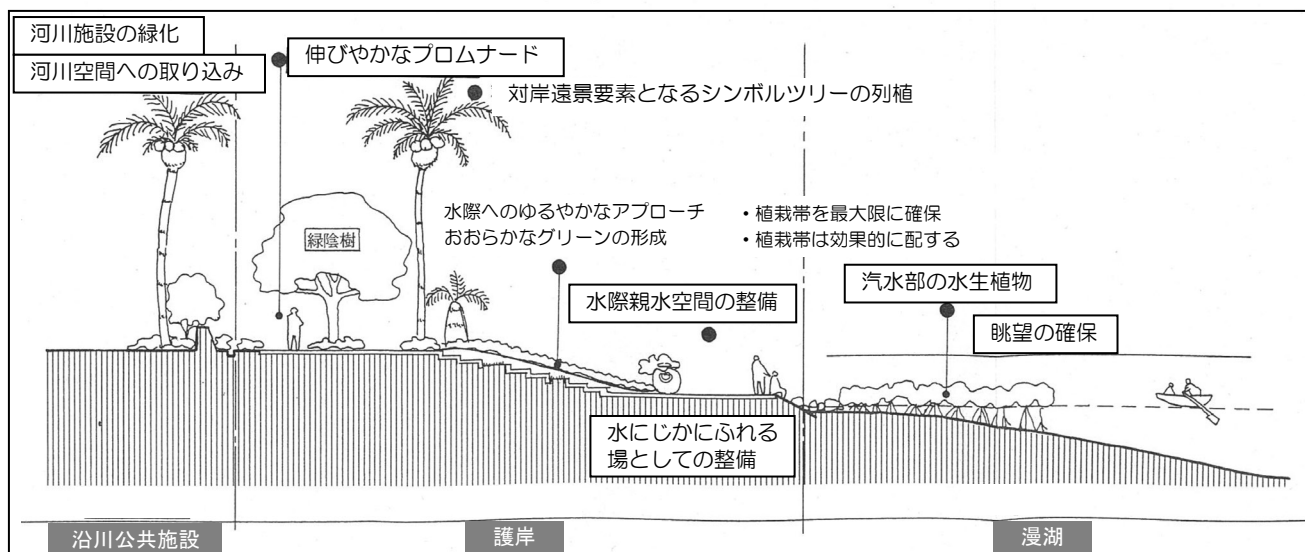


安謝川



水路沿いの植栽に配慮している住宅（字小緑）

■ 漫湖ウォーターフロントの断面イメージ



河川緑地が保全され、
緑豊かな河川空間が
形成されている。

水際のゆるやかな
アプローチができる
護岸

琉球石灰岩による護岸



奥武山公園の護岸

③河川沿いの建築物等は、形態・色彩・素材ともに周辺の景観に調和させます。

④河川沿いの建築物等は、連続する建築群の形態と色彩、スカイライン並びに緑との調和に配慮し、対岸から伸びやかで広がりのある眺望景観の確保に努めます。



国場川：壺川・奥武山

水と緑の豊かな河川空間と調和する落ち着いた色彩の建物

河川沿いの建築物等は、連続する建築群の形態と色彩、スカイライン並びに緑との調和に配慮する。



久茂地川

河川沿いやモノレール軌道側のバルコニーを緑化

デイゴ並木と琉球石灰岩の護岸により沖縄らしい緑豊かな親水空間を形成した事例

⑤那覇らしい個性のある護岸形態となるよう努めます。

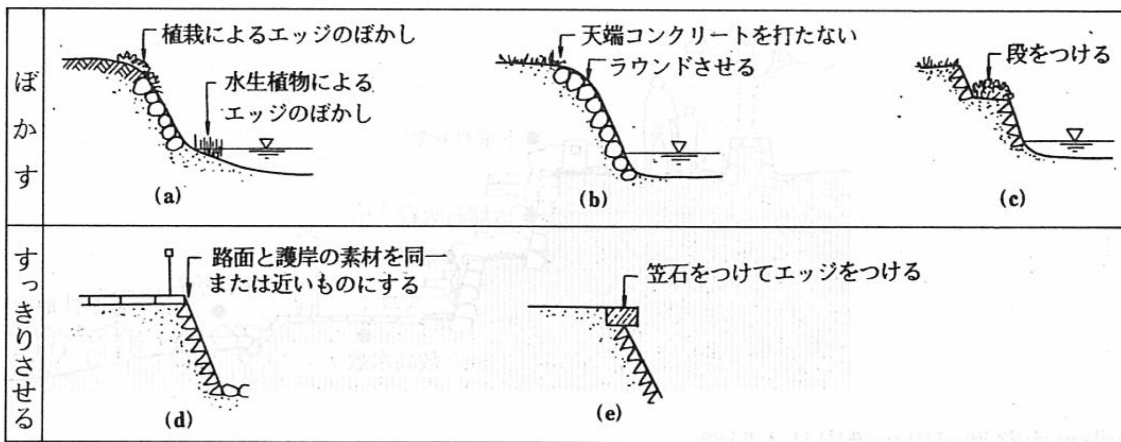


久茂地川



久茂地川の親水空間

■護岸天端処理の手法



琉球石灰岩を素材に柔かい曲線で
親水空間を創出した事例



奥武山公園の護岸

河川沿いの建築物等は、連続する建築群の形態と色彩、スカイライン並びに緑との調和に配慮し、対岸から伸びやかで広がりのある眺望景観の確保に努める。

⑥橋梁等（河川や港湾を跨ぐ構造物）は、形態・色彩・素材ともに周辺の景観に調和させます。

⑦橋梁等は、アイストップとして印象化されるように整備を図ると共に、河川の眺望景観を享受できるように視点場や休憩空間として整備を図ります。



宇久増橋



⑧隣接市との両岸一帯となった水・緑景観の保全・修景・創出を図ります。



安謝川

那覇らしさを有する西向き海岸線

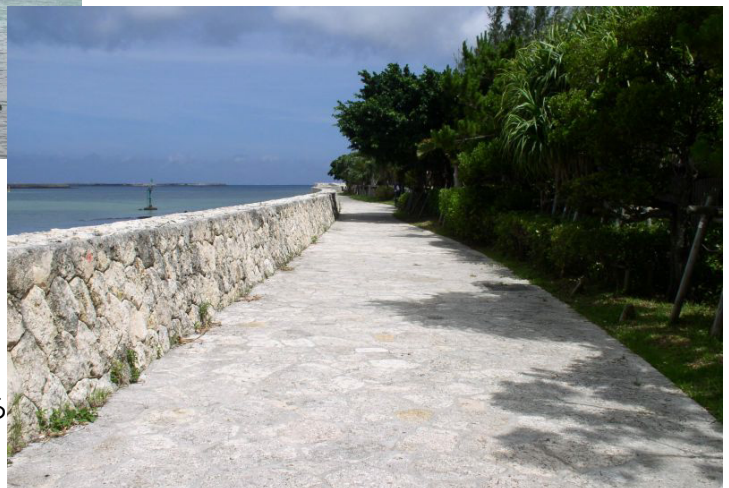
<個別方針>

- ①埋め立てなどによって改変された海岸線や、新たに創出する水際線は、可能な限り柔らかに自然になじむ、人々にとって身近となるような景観形成に努めます。
- ②那覇ふ頭・軍港一帯は、がじゃんびらの斜面樹林地の緑と海に調和する印象的な景観形成を図ります。
- ③泊ふ頭・新港ふ頭一帯は、天久緑地の緑と海に調和する印象的な景観形成を図ります。



琉球石灰岩の護岸とし、那覇らしい個性のある河川空間を形成する。

三重城ふさと海岸



親しみのある舗装材を活用し、海からの縁取りとしての緑をつくる。



波の上ビーチ